

平成 28 年度

<JAバンク中央アカデミー>

全国研修のご案内

2回に短縮、  
内容を修正

## 「県域年金推進担当者研修」

～ 年金推進にかかるJA指導や相談対応力向上へのスキルを学ぶ講座

- 県域での年金推進にかかるJA職員指導や年金相談に必要なスキル等を向上させたい方。
- 信連等でJAバンク県域年金センター機能を担う職員の方のご受講をお奨めします。

○ 日 程：(各3日間)

(第1回) 平成28年7月27日(水) 8:50～29日(金) 15:40

(第2回) 平成28年11月30日(水) 8:50～12月2日(金) 15:40

○ 場 所：

(第1回) 農林中金アカデミー研修室(宿泊は近隣ホテル等)

(住所) 東京都千代田区有楽町1-12-1

新有楽町ビル6F

(第2回) 農林中央金庫品川研修センター(宿泊場所も同じ。)

(住所) 東京都港区港南2-10-13

## ○ 研修のねらい（こんな時）

すでに基本的な年金の知識を習得済みで、各県域でJAバンク県域年金センター機能を担われている職員の皆さんを対象に、グループワークやロールプレイング等を多く盛り込み、加えて2回の研修の合間に地元での年金推進指導実践（研修と同行訪問の実施）により、年金推進にかかるJAの人材育成指導や相談対応に必要な実践的なスキルを身に付けていただくことをねらいとしています。

## ○ 想定する受講対象者

信農連等の推進部署でJAの年金推進指導（JA地区担当を含む）を担当する職員  
※ 「年金基礎」（旧「年金実務」）を受講済みもしくは同レベルの年金にかかる基礎知識を有するとともに、研修の間での「課題」とする地元JAでの実践活動を行うことができる方。

## ○ 考え方（研修の骨格）

これまで身に付けられている年金の基礎知識を前提に、①第1回目の集合研修では、地元JAの年金推進にかかる課題分析や推進のためのスキル等につきグループワークを中心に学びます。②研修終了後には、第1回目の学習内容をもとに、地元JAでのミニ研修会の開催とそれを踏まえた同行推進活動の実践を行っていただきます。

③第2回目では、地元での実践活動により浮かび上がった課題の確認と対応策を検討していただいた後、今後の指導に向けた推進手順の確認や広報活動、推進施策等を確認し、全体として年金推進指導に必要なノウハウを身に付けていただきます。

## ○ 関係者の声

（笹沼講師から）

県域で年金推進指導にあたる担当者がほしいのは「事例」と「情報」です。

この研修はひとりでは学ぶことのできない年金推進手法について、グループワークや事後課題をもとに身につけていくことを目的としています。

県域での特性は様々ですが、年金推進は安定した収益を確保するためにも信用事業において最重要項目となります。

自立して行動できるJA職員育成の手助けをするために、年金推進に特化したこの研修ぜひ活かしてください。

（昨年度のアンケートから）

- 他県の取組内容につき、様々なアイデアや情報を聞くことができた。
- グループワークが多く、情報交換の場となった。
- わかりやすく、講師の話も面白く、参考になることが多かった。
- 知識は本で勉強できるが、推進指導は独学ではできないので良かった。
- 配付いただいたテキストをフルに利用して、地元での研修を行いたい。
- 様々な推進施策を学ぶことができた。

## ○ 研修講師紹介

笹沼 和子 (ささぬま かずこ)

<略歴> 栃木県信農連勤務を経て、笹沼和子社会保険労務士事務所を開設。(株)服部年金企画所所属講師を経て、平成23年4月に独立。

現在は、当社全国研修として本研修や「年金基礎研修」に加え、多数の県域で県域研修講師として活躍中。

## ○ 研修プログラム (予定) ※ 時間調整等により、内容を変更する場合があります。

	<第1回>	<第2回>
	セッション名	セッション名
	【1日目】	【1日目】
	(8:50 集合)	(8:50 集合)
9	<開講>	○第1回目の課題の確認〔G・全体討議, 講義〕
	○金融機関と年金〔講義〕	・モデルJAでの実践振り返り
12	○信用事業体制の現状認識〔個人発表・講義〕	・同行訪問を通じ見えてきたこと 等
13	・自県の年金推進体制等の確認	○同行訪問とFSTとの違い〔講義〕
	○年金数値の取り方〔G討議, 講義〕	○年金推進の手順確認〔G討議, 講義〕
	・自県の年金実績を分析	(ミニロープレで確認)
	・競合金融機関の情報把握状況	○効果的な年金推進の広報活動
	・実績管理の状況と分析 等	・現状のチラシ, 友の会活動等の確認
	(17:30 終了)	(17:30 終了)
19	(経験交流)	—
	【2日目】	【2日目】
9	○年金推進体制の現状認識〔G討議, 講義〕	○現場における年金推進〔G討議, 講義〕
	・年金相談会の開催状況(回数, 来店者)	・年金相談会, 電話相談
12	・利用中の推進マニュアルの確認	・年金FST, 同行訪問 等
13	・実績検討会の開催状況 等	○電話戦術のシナリオ作成〔個人ワーク, 講義〕
	○年金相談会の現状と課題〔G討議, 講義〕	○総合事業と年金推進〔G討議, 講義〕
	・集客状況, 社労士との提携状況	・各事業との連携策等の検討
	○指定替推進の実施方法〔G討議, 講義〕	
	・振返り, 応酬話法 等	
	(ミニロープレで確認)	
	(17:30 終了)	(17:30 終了)
18	—	—
	【3日目】	【3日目】
9	○仮想モデルJAの年金推進体制再構築〔G討議, 講義〕	○未支給年金から始まる遺族年金対策〔G討議, 講義〕
	○年金研修講師対応時の留意点〔講義〕	・遺族年金指定からの家計メイン化
12		・遺族年金へのアプローチ手順確認 等
13	○年金訪問活動の留意点〔G討議, 講義〕	○28年度以降の推進に係る改正〔講義〕
	・次回までの課題	・次年度復活する厚生年金新規男性
	(アクションプログラム作成等)	・共済年金の推進方法を考える
	○まとめ(質疑, 1分スピーチ)	○まとめ(1分スピーチ~今後どう活かす)
	(15:40 解散)	(15:40 解散)
16	—	—
事後課題	・モデルJAの選定 ・ミニ研修会の実施 ・年金同行訪問	

(注) 第1回の1日目の研修終了後「経験交流会」を開催いたします。

## ○ 募集人員

定員 24名

※ 応募人数が定員を上回った場合は、受講をお断りする場合がありますので、予めご承知おきください。(受講をお断りする場合は、開講の1カ月前までにご連絡します。)

※ 正式なご案内は、研修開講日の1カ月前頃の送付となりますので、1カ月前までに連絡がない場合はお申込みいただいた内容で受講準備をお進めください。

## ○ 日 程

(第1回)(3日間)

◇ 開 講	平成28年 7月27日(水)	9時00分
◇ 閉 講	平成28年 7月29日(金)	15時30分(15時40分散散)
< 集合日時	平成28年 7月27日(水)	8時50分 >

(第2回)(3日間)

◇ 開 講	平成28年11月30日(水)	9時00分
◇ 閉 講	平成28年12月 2日(金)	15時30分(15時40分散散)
< 集合日時	平成28年11月29日(火)	21時00分 >

※ 第1回集合日の朝食、第2回集合日の夕食は準備しておりませんので、各自でお済ませください。

## ○ 研修会場・宿泊場所

(第1回)

- (1) 研修会場 農林中金アカデミー研修室  
(住所) 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビル6F  
(電話) 03-3217-3060

- (2) 宿泊場所 近隣ホテル等

※ 研修期間中は近隣ホテル等での宿泊となりますので、各自でご手配をお願いいたします。

(ご参考までに「近隣ホテルMAP」を添付します。夏休み期間中でもありますので、早めのご手配をお奨めします。)

(第2回)

- (1) 研修会場 農林中央金庫品川研修センター  
(住所) 東京都港区港南2-10-13  
(電話) 03-6758-3170

- (2) 宿泊場所 農林中央金庫品川研修センター

※ 宿泊人数の関係で近隣ホテル等での宿泊となる場合がありますので、予めご承知おきください。

○ 参加費用（予定）（消費税込）

	第1回	第2回	合計
受講料	84,000円 (教材費を含みます。)	—	84,000円
宿泊代	—	3,000円 (前泊分を含みます。)	3,000円
食事代	8,100円	6,000円	14,100円
合計	92,100円	9,000円	101,100円

○ 申込みの方法

6月13日（月）までに以下の方法でお申込みください。

お申込み	申込方法
信農連・1JA県JA	「研修申込・履歴管理システム」によりお申込みください。
農林中金本支店・推進室	所定様式により農林中金系統人材開発部へお申込みください。

以上

【本件にかかる照会先】

株式会社 農林中金アカデミー 研修企画部 松田・久野・谷田貝  
(電話 03-3217-3060, 3062)